

飲料業界の現状と課題



- PETボトルリデュース率：23.0% (2016年度)
(自主計画：2020年度25%「2004年度対比」)
- PETボトルリサイクル率：83.9% (2016年度)
(自主計画：リサイクル率85%以上の維持目標)
- 海外再資源化量：22.1万トン、国内再資源化量：27.9万トン (家庭で排出されるPETボトルの多くが容器包装リサイクル法に基づいて取引され、国内循環される一方で、自販機横の回収BOX等に捨てられる「事業系PET」は、これまで大半が中国に輸出)
- 自販機横の回収BOX設置率：約90%。一方、回収BOXではなくゴミ箱とみなされ、生活ごみを入れる事象もあることや、一部地域ではごみ持ち帰り政策のため設置できない状況。
- 河川・海岸ごみの代表例としてPETボトルを、環境NGO団体が指摘。

海洋プラ問題・飲料業界としての短・中・長期視点

検討例

短期

2019年春
G20開催
国内プラ資源
循環戦略策定
2020東京オリパラ

- ◆ 現状確認と情報共有、勉強会開催
- ◆ 短期で可能なリサイクル率向上への業界取組検討と実施
- ◆ 業界としての啓発活動と広報強化
- ◆ 環境NGO等ステークホルダーとの連携強化

中期

2025年
第四次循環型
社会基本計画
数値目標年次

- ◆ 廃掃法改正を含めた事業系廃棄物課題提案※
 - ◆ ポイ捨て防止条例強化に向けた活動※
 - ◆ 回収率、リサイクル率の向上、国内循環目指した取組み
 - ◆ PETボトルの二次マイクロプラ化の科学的根拠検討※
- ※提言や要請は、短期で実施

長期

2030年
EUプラスチック
戦略完全履行
SDGsゴール

- ◆ 使用済容器回収率向上と有効利用拡大に向けた業界の取組み
- ◆ 日本の回収・リサイクルシステムをベースとした諸外国展開への協力

プラ資源循環で飲料事業者が取り組める自主的行動

自主的行動	業界としての取組	個社としての取組
一層の 3R 推進と 研究 開発	リデュース	
	使用済容器 回収率改善 リサイクル徹底	
	生分解性 プラ利用 新素材開発	
国民 理解 促進	消費者啓発 環境美化活動	
国際 協力	途上国 サポート	

引き続きのご指導を 宜しくお願い致します。



一般社団法人 全国清涼飲料連合会